

KT師の重賞本命と見解『G2富士S 2021』

本命はワグネリアン。

ディープインパクト産駒が特に強いレース。

昨年本命のヴァンドギャルドもそうだったように
中距離馬がそのまま能力を発揮しやすいレース傾向も。

過去 10 年でディープ産駒は 22 頭出走して 12 頭が馬券に。

前走が G2 か G1 だった馬は 5 頭出走してすべて馬券に。

格上の中距離 G1 馬ワグネリアンを例年の傾向通り評価します。

相手はソングライン、ラウダシオン、ダノンザキッド。

マイル以上の格が重要なレース。

芝 1600m 以上の G1 で連対しているのは本命馬含め、4 頭のみ。